

◆ 指定管理者制度の

見直しを

◆ 津波浸水想定の設定は

正しいか



今川 悟

問 復興事業での新施設整備に合わせ、指定管理者制度を見直すタイムミン

23年度に実施した復興パ

2メートルとしたのに、

りませんか。
答 復興パターン調査の津波浸水想定の結果は23年9月ごろに市に提供されました。面瀬川の堤防は2.5〜3.5メートル、地区内の盛土高を2〜5.8メートル、県道の一部を7メートルとして2線で整備する設定でした。この結果は検討の参考資料であり、河川堤防等に関する県の方針も決まっていない状況により、市

民向けの公表はしていません。検討資料であり、設定の誤りではありません。災害危険区域の範囲と浸水深に違いはあるものの、現在進めている復興まちづくりの方向性に対する影響はほとんどありません。

答 復興事業で整備する産業施設の民間管理などを含め、施設ごとに検証していきます。指定管理の効果を数字で表す形も整えていきたいと考えています。

今後の運営の在り方について方針を速やかに取りまとめ、ガイドラインは本年度後半に形をつくりたいです。公共施設等総合管理計画に基づく施設類型ごとの個別計画は平成32年度を目標に策定します。

問 市道羽田川上線の改良について、進捗状況を伺います。

計画を実施し、平成29年度にかけて測量と詳細設計を行っています。平成30年度の延長120メートル区

間を幅員7メートルで拡張整備する計画です。今後、東日本電信電話

の延長120メートル区間を幅員7メートルで拡張整備する計画です。今後、東日本電信電話

の検討が必要と考えています。
問 大曲一般廃棄物最終処分場は2年程で満杯の状態になるとのことです

◆ 市道羽田川上線、八瀬川線改良の進捗状況は



菅原 清喜

が、今後の計画を伺います。
答 新たな最終処分場の整備について、候補地周辺の方々に、懇談会等を3地区で各4回開催し、説明してきたところです。が、まだ十分な理解を得られていないのが現状です。